

**(7) ごみ処理等の環境整備**  
 ごみを資源として活用する「ごみゼロ社会」の実現は長年の課題・究極的な目標であり、町でも目指すべき目標とされています。

平成30年度からは、可燃ごみから固形燃料を製造する「ごみ固形燃料(RDF)化事業」の具体的実施方法について検討を進めていきます。

また、下水道汚水・し尿・浄化槽汚泥の処理一元化を行うための汚水処理施設共同整備事業(ミックス事業)は、平成30年度より施設の整備工事を行っていきます。

**(8) 緑化・環境美化の推進**  
 年間70万人以上の来園がある道立噴火湾パノラマパークは、美しさ・楽しさ・安全を三本柱に、自主イベントの充実を図り、管理運営に努めていきます。

町内各公園は、引き続き町内会等の協力を得ながら、子どもたちがいつでも安全に遊べるよう、遊具などの点検を定期的に行い、適正な維持管理に努めていきます。



**(9) 防犯・交通安全の推進**  
 地域住民の安全、安心を守る町所有の施設や公園、学校敷地内の防犯灯LED化を進め、維持管理の軽減と地球温暖化対策を図っていきます。

地域住民が、犯罪や交通事故に巻き込まれないよう、防犯協会や自主防犯パトロール隊・関係団体との連携を強化し、近年の犯罪傾向を考慮した啓発活動や各種運動を推進していきます。

オレオレ詐欺に代表される特殊詐欺や、悪質商法での消費者トラブルなど複雑で高度化する中、広域化による消費生活相談体制などを継続し、住民へのきめ細やかな情報提供や学習機会の充実に努めていきます。

**(10) 消防・救急体制の充実**  
 さまざまな災害発生時での消防力の強化を拡充するため、地域で活躍する消防団員の確保、安全装備品や消防水利の整備、老朽化した消防車両・格納所の整備、熊石地域の消防無線不感地帯の解消を計画的・効果的に実施していきます。

救急救助の強化・充実を図るため、救急車両の更新・救助資器材等の計画的な整備、高度な知識・技術・判断力やさらなる意識の高揚を得るための研修会や講習会への参加、さらに常に最新の消防・救急、防災対策について上部教育機関での受講など、職員のみならず、市民の再教育に努めていきます。

火災予防などの推進については、避難体制のあり方や高齢者に分かりやすい防火対策などを講習会や防火訪問等により、意識の高揚に努めていきます。

**(11) 防災体制の強化**  
 地域防災計画など諸計画の見直しや策定を行い、地域ごとの避難訓練などの実施に努めていきます。

また、災害時備蓄計画を見直し、必要性の高い物資の備蓄を進めて各種災害協定の締

結を推進し、緊急時対応の整備をしていきます。

熊石地域は、閉校施設を含め、学校施設全てが避難所に指定されているため、現況施設の状態を把握し、災害時に有効活用できるように、維持管理に努めていきます。また、防災行政無線デジタル化への更新整備が平成29年度で完了し、さらなる安心・安全のまちづくりのため、引き続き北海道立総合研究機構と連携・協力し、防災力の向上を図ります。

## 2. 八雲の豊かな資源を活用した産業振興

### (1) 農林業の振興

農業の持続的な発展が図られるよう、社会情勢の変化に対応した「足腰の強い産業」に育てるための政策と、農業・農村が有する多面的機能維持に関する政策を柱に、国や北海道の制度を積極的に活用しながら、生産者や関係機関、団体が一体となり、地域課題の解決に取り組んでいきます。

具体的には、農地の集積を図り、農業基盤整備、新規就農者や協業型法人など多

様な担い手の育成確保、個別経営体の生産の拡大・所得増に向けた取り組みを推進し、農作業受託組織などの経営基盤確立の支援を進めます。

また、環境に配慮した家畜ふん尿処理対策の計画調査、バイオマス資源の有効利用検討、家畜衛生対策の強化、新規農作物の導入・拡大に向けた取り組みの継続、都市と農村の交流人口拡大に向けた地域農畜産物のブランド化・消費の拡大対策などを進めていきます。

林業は、民有林や町有林の適正管理に努め、森林認証制度の活用、森林への理解を深める木育活動などを実施していきます。また、公共建築物などへの地域材利用の拡大、林業施業の集約化、機械化を通じた効率的な森林整備、生産基盤としての路網整備を推進していきます。

